

茅 Kaya

- セミナー講演会 -
見直してみよう
茅を使う文化と
地域の茅葺き

2024

7/20 Sat

2024年、豊田市足助地区で 茅を使った取組が始まります

三河地方に伝わる茅葺文化と、茅が持つ可能性を様々な
観点からお伝えし、これからの取組についてお話しします

① 13:00-15:00 セミナー講演会

② 15:00-16:00 茅葺民家見学会

豊田市博物館

日時：2024年7月20日(土) 13:00-16:00 (開場：12:30)

会場：豊田市博物館 セミナールーム(定員 50名)

(豊田市小坂本町5丁目80、名鉄豊田市駅徒歩約15分)

参加費：無料 (セミナー講演会・茅葺民家見学会のみ)

※博物館常設展・企画展の観覧料は博物館HPをご確認ください。

申込み：<https://forms.gle/EFRh8YEEKAezWu5r5>

問合せ：kayasuke2024@gmail.com

主催：豊田市足助支所

企画運営：合同会社かやすけ

申込みフォーム▶



GUEST SPEAKER

#01 安藤 邦廣

筑波大学名誉教授

#02 大河原 有史

合同会社かやすけ

#03 三谷 裕樹

(株)ナノメートル

アーキテクチャー

#04 立松 昌朗

合同会社かやすけ



茅(かや)って何？

▶ 屋根材に使うススキなどの草のことです

人は昔から木や草などの自然素材を上手に生活に利用してきました。茅を刈り取る茅場は、カヤネズミなど多くの動植物の住み家でもあり、茅場を維持することは地域景観や生態系を守ることにも繋がっています。環境問題が深刻化する今、茅をはじめとする自然素材がもつ可能性を様々な観点から考えてみましょう。

▶ 第一部 セミナー講演会 13:00 - 15:00



#01. 茅葺きから見る地域の未来

安藤 邦廣 筑波大学名誉教授 工学博士

建築家 / 里山建築研究所主宰 / 日本茅葺き文化協会代表理事 / 日本板倉建築協会代表理事 / 著書「日本茅葺き紀行」「小屋と倉」「茅葺きの民俗学」他



#02. 三州足助屋敷

~生活に必要なものは自分でつくる~

大河原 有史 合同会社かやすけ

(株)三州足助公社事業部長 / 建物を保存するだけでなく、中山間地域の課題解決に繋げる活動を目指す



#03. 建築の材料を探す旅

三谷 裕樹 (株)ナノメートルアーキテクチャー

建築家 / 2025年日本国際博覧会休憩所他設計業務の公募型プロポーザル優秀提案者(サテライトスタジオ東)



#04. 足助から始まる、

新しい茅の取組み

立松 昌朗 合同会社かやすけ

准木材コーディネーター / 建築士 / 茅に関するイベント企画 / 足助地区にて耕作放棄地を活用した茅場再生を計画

▶ 第二部 茅葺民家見学会 15:00 - 16:00



旧平岩家住宅
豊田市文化財

豊田市豊松町(松平地区)の農家であった平岩家の主屋を博物館内に移築。江戸時代中期～後期に建てられ、四つ建と呼ばれる古式な構造を残しています。

